



子育て家庭への支援について



本市では、これまで乳幼児医療費の支給制度を小学校就学前までに拡大すると共に平成19年度からは、医療機関における窓口払いを廃止する等の制度整備の充実をしてきました。

しかしながら、最近の景気後退は更に市民生活を脅かしており、子育て家庭への影響は深刻である事から12月議会において自民党川口市議団からの質問と要望に応え平成21年度4月診療分から、支給年齢を中学卒業にあたる15歳まで拡大する事となりました。

そして、名称も乳幼児医療費支給制度から子ども医療費支給制度に改められました。

また、保育所への入所希望者が年々増えており、民間保育園の新設・拡充も含め、待機児童解消に取り組んでいる様であります。

次代を担う子ども達が健やかに生まれ育つ環境整備を引き続き強く求めていきます。



学校ファーム推進事業について



自然の恩恵がもたらす食物が私たちの命を支えていることを学ぶ事はとても重要であることから、平成21年度より市内5校（小中学校）のモデル校を指定して、児童生徒が農作業を体験し植え付けから収穫までの生育過程を学び、生きる力を身につけていく学校ファーム事業が実施されます。

すでに幾つかの小学校では同種の活動が実施されていますが、地域の営農者、JAによる支援体制を整えることにより更に充実された農業体験授業として拡充される事を望むものであります。

救急救命講習会を受講



本年2月12日、市議会議員を対象として、救急救命講習会が開かれ参加しました。心肺蘇生が必要なケースでは最初の数分間が生と死の分かれ目になります。誰もがこうした切迫した場面に遭遇する可能性があります。

そんな万が一の為に救急車が現場に到着するまでの応急手当の基礎（人口呼吸・胸骨圧迫・AED操作）を学ばせてもらいました。

結果、普通救命講習修了書を無事に頂く事が出来ました。